

Special Edition
 特集◎広報誌が生まれ変わります

霧島

広報きりしま
 MAY.2006 VOL.10
 5



4月23日午後2時10分 隼人町妙見

Kirishima City Public Relations, Japan
2006.5 VOL.10

霧島 広報きりしま



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)
 ホームページ/URL <http://www.city.kirishima.jp> ■メール/アドレス/E-mail/info@city-kirishima.jp
 ■編集/広報広聴課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/南国分新生社印刷

RE100
 PRINTED WITH SOY INK

◎今月の表紙



天 降川(あもりがわ)は霧島市のほぼ中央を流れる延長約40kmの河川。鹿児島県で3番目に大きな河川で、天孫が天降ったといわれる霧島山系を水源としていることから「天降川」と呼ばれています。流域には温泉・鮎・紅葉の名所があり、四季折々の表情を見せてくれます。人々の暮らしに彩りを与えてきた川と言えるでしょう。
 【撮影データ】フジGA645Zi フジノン90mm
 F/2.8 4.5-6.9 ベルビア100 絞り優先オート
 1/30 F13露出補正なし

Editor's

新年度に入り広報係も新メンバーでスタートしました。今月号からリニューアルし、慣れない部分が多々ありましたが無事発行できました。しばらくは時間がかかりそうですが、新しい広報誌は毎回楽しみにしていただけよう住民参加型の広報づくりを目指してがんばってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします(1)

今までのようなギャグは書けません。「なるほど」というような文章でない。でも、でも「ひとりごとのコーナーだけが楽しみです。やめないで」という市民の声もあるし(?)できるだけ私だけでもおもしろいお話しをつづけさせていただきます。牧園の和氣神社の白イノシシ愛ちゃんは尾も白い。おもしろい。どうだあ(T)

4月の人事異動で広報広聴課に来ました。慣れずにバタバタ、ただただバタバタしているだけでしたが、なんとかリニューアル第1号を発行することができました。今回、取材させていただいた「育穂会」の子どもたちを見て、地道に広報の経験の積みながら、楽しんでいきたいと思います。皆さん、よろしく願います(A)

広報誌ってどうやって作ってたっけ...そう思うくらい今回のリニューアルは広報誌だけでなく、取材、写真、原稿、意識...全てがリニューアルでした。不安も大きかったですが、行動派のIさん、お笑い担当のTさん、全てに切れ味鋭いAさん、そんな皆を観察する私。これからも、互いの個性を活かし広報活動を頑張ります(M)

◎人口/128,042人(+19) 男性/61,843人(-9) 女性/66,199人(+28)
 出生102人/死亡109人 転入357人/転出331人
 ◎世帯数/55,546世帯(-6) (平成18年3月1日現在)
 ◎人口/127,259人(-783) 男性/61,381人(-462) 女性/65,878人(-321)
 出生109人/死亡111人 転入1,334人/転出2,114人
 ◎世帯数/55,444世帯(-102) (平成18年4月1日現在)

Kirishima City Public Relations, Japan

広報誌が生まれ変わります

広報誌には人と地域を元気にする力があります。

霧島市は貴重な地域情報がたくさんある魅力ある地域で、
そこで暮らす「人」を掲載していきます。

スタッフ一同、読まれる広報誌を目指していきますのでよろしくお願いします。

クシマニアと呼んでいます。が、ぜひ多くのクシマニアを増やしていきたいですね」
前田終止市長も広報広聴活動に期待を寄せています。

「市長に就任してすぐ作った名刺の肩書きに広報営業本部長と入れました。市長自らが霧島市の魅力を広報し、トップセールスに力を注ぐと考えたわけです。市役所内には数多くの部署がありますが、広報広聴課は市のセールスマンの存在だと考えています。皆さんの職場や家庭に飛び込んで、喜びや苦しみを共有してもらいたいものです。また、広報と広聴は車の両輪だと言われます。市政を懇切丁寧に住民に説明し、理解してもらわなければなりません。きちんとした説明責任を果たした上で、世論の支持を得た政策や事業は、住民の方々から高い評価を得ることができると思っています。そのための広報広聴活動を展開していきます。広報誌が霧島市の新しい魅力づくり、名物づくりに活用されることを願っています」

新しい広報誌はレイアウトや構成、縦書きを多くしたことなど「広報くしま」のスタイルを取り入れました。今回は24ページでしたが、次回からは特集ページを増やし28ページでお届けします。月初め発行の広報誌は特集などをメインに、月半ば発行の「お知らせ版」はお知らせが中心になります。ゆくゆくは「読者のページ」も設ける予定です。皆さんからいただいたお便りを掲載するものです。毎号毎号、楽しみにしていただけるといいですね。住民参加型の広報誌を目指していきますので、よろしくお願いします。

霧島市の広報誌を今月号からリニューアルしました。家庭や職場で読んでいただき、霧島市のことを理解し好きになつてほしいという願いが込められています。

リニューアルの理由

インターネットが普及している今日でも、紙媒体はまだ重要な役割を果たします。しかし、一般的に行政の広報誌は「堅くておもしろくない」というイメージがあります。そこでリニューアルにあたり、まず先進地の広報誌を研究することにしました。全国広報コンクールで日本一となった宮崎県串間市を訪れ広報誌編集を学んだのです。「広報くしま」は市の部で平成13年に特選、16年に1席を受賞。全国の広報担当者が注目しています。日本一の担当者、諏訪園達夫さん（46歳・現市長秘書）は、広報誌の重要性とリニューアルの方向性について話してくれました。

「視察に来て通り一遍の話をきいて終わりという自治体が数多くある中で、霧島市の担当者は何回も足を運ばれました。その熱意に打たれ、リニューアルの編集会議に参加してもらいました。1市6町の合併で誕生した霧島市は、串間市とは異なる魅力がある街だと思います。しかし市民には霧島市という実感がまだ薄いのではないのでしょうか。広報誌には住民の一体感を高め、人と地域を元気にする力があります。霧島市には旧市町の住民が合併前には互いに知らなかった貴重な地域情報がたくさんあるはず。地域の再発見は、住民が地域に愛情と誇りを持つことにつながっていきます。串間ではそのような人を



① 耀州区人民政府とこれからの友好交流継続を協議した ② 柳公権中学校では2,500人の生徒が出迎え、ステージでは子どもたちが自己紹介や中国の歌を披露した ③ 耀州区柳公権中学校、中国の子どもたちと一緒に英語の授業を体験した ④ 牧園町と嘉定区の藤は和気町から贈られ兄弟関係にあるその縁で交流が続く ⑤ 鯉(こい)のぼりを製造:嘉定区 ⑥ 近代的な上海国際サーキット



霧島市と中国の交流を継続するために市長を団長とする市国際交流友好訪中団が中国の二つの都市を訪問し、友好を深めました。また、市青少年友好訪中団として参加した子どもたちは、学校訪問やホームステイなど貴重な体験をしました。

これからも友好継続 耀州・嘉定区



【耀州区】2160年余りの歴史を持ち、漢の時代(紀元前155年)に発足、人口30万人。長い歴史があり国指定文化財などの観光資源も豊富。【嘉定区】上海市北西部にあり、人口51万人。上海国際サーキットをはじめとする自動車部品製造、物流、観光など関係産業が発展している。



2泊3日、ホームステイ先の子どもと

耀州区と隼人町、嘉定区と牧園町は合併前から交流を続けてきました。この二つの都市と友好を図ることを目的に霧島市国際交流友好訪中団が3月25日から5日間の日程で訪問しました。訪問したのは前田終止市長をはじめ国分市・隼人町両国際交流協会会長など15人。そして青少年友好訪中団として吉永富城(きよとみ)教育部長などのほか隼人町内の中学生6人、小学生4人の15人も同行し、4月1日までの8日間ホームステイなどを体験しました。

市長ら一行は最初に孫源村を訪れ、王傑傑(わんけつ)耀州区対外友好協会会長や齊金端(さいきんたん)耀州区長と一緒に記念植樹をしました。夕方の耀州区人民政府主催の歓迎会では、市長が「霧島市として今後も交流を継続していきたい。隼人町との交流は13年前に私が緑の遣

唐使団長として訪れたのが縁であり、感慨深いものがあります」とあいさつしました。また耀州区人民政府を表敬訪問し、今後の友好交流継続のための協議をしました。

陝西省銅川市耀州区は省都の西安から約74キロの距離にあり人口30万人、りんご、サンショウ、胡桃、漢方薬の産地として知られています。

27日夕方には上海市嘉定区へ飛行機で移動。嘉定区は上海市の北西部にあり、近代的な国際都市を目指してまちづくり事業に取り組んでいます。

一行は紫藤園を視察。この公園の藤は嘉定区と友好都市の岡山県和気町から贈られたものです。また同町と友好姉妹都市の牧園町にも藤が贈られ和気公園に植栽されています。

その後、のびゆく中国を象徴

する上海国際サーキットの視察や在上海日本国総領事、ジェトロ上海センター所長を表敬訪問し、最後の夜には上海鹿児島県人会との情報交換会を開き有意義な交流となりました。

一方、青少年友好訪中団の子どもたちは、主に耀州区で学校訪問やホームステイをして交流しました。この交流は平成10年度から毎年行われています。柳公権中学校では約2,500人の子どもたちの歓迎を受け、また英語の授業を体験しました。

子どもたちはホームステイや学校訪問が心に残ったようで「また参加したい、より深く交流したい」と積極的な感想が聞かれ、中国の生徒の学習に対する真剣な姿勢を見て、自分たちの生活について考えるところがあったようです。

Zoom up Kirishima きりしま / かわら版 !!

KOKUBU KIRISHIMA MAKIZONO YOKOGAWA HAYATO MIZOBE FUKUYAMA

POINT OF VIEW



須川様祭りで桜踊りを披露する前玉子ども会

溝辺

春は須川の馬踊りから
3月28日、溝辺町三繩の前玉神社で須川様祭りがありました。この日は天候も良く、参道には露店が立ち並び、早朝から約600人が訪れました。ここに祀られている「須川様」は「牛馬の神」とも呼ばれ、牛馬の守護神として信仰もあつく、その繁殖無事を祈願するために参拝する人が多いそうです。

五穀豊穡と馬頭観音の御被いの後、地元の「前玉子ども会」による桜踊り・棒踊りが披露されました。また、4頭の馬の小刻みなリズムに乗った踊りと軽やかに鳴る鈴の音に訪れた見物客らは春の訪れを感じている様子でした。

MIZOBE



慣れない箸で悪戦苦闘する転入教職員

横川

名物そばで歓迎
4月21日、横川町の清水川団地集會場で、横川小学校の転入教職員歓迎会があり、同小に転入された教職員8人が出席しました。

この歓迎会は同小PTAが転入教職員を歓迎するために実施。丸岡公園名物の「超びつくり手打ちそば」で歓迎しました。名物そばは、どんぶりの中央に高さ15センチほどのたけのこが丸ごと立ててあり、お箸も縁起の良いナンテンの幹を使用したビッグサイズで、素材は全て横川地区内で採れたものを使用。先生たちは、慣れない箸に悪戦苦闘しながらもそばの味に大満足の様子でした。

YOKOGAWA



登山の安全と環境保護を祈願する登山客

霧島

登山事故が
無いことを願う
その後、参加者らは好きな登山ルートへ出発。この時期の霧島連山は、ヤマザクラやキリシマミズキ、クサボケが見ごろで、絶好の登山日和の中、大自然を満喫していました。

登山シーズンを迎え、4月9日、霧島連山は山開きをしました。高千穂河原では、登山客の無事故や環境保護を願う神事が行われ、登山客など約70人が参加しました。神事に参加した霧島連山自然保護協議会副会長の米満重光湧水町長は「自然に対する畏敬の念を忘れず、今年1年、事故がないように気をつけてほしい」と話していました。

KIRISHIMA



すべて手作業で4人1組となり仕込みをする職人

福山

黒酢の仕込みが
始まりました
健康食品として需要が増え続けている黒酢の春の仕込みが福山町で始まりました。ずらりと並んだ54リットルの陶製のつぼに職人たちが手作業で米麴（ぬか）を蒸し米、地下水、米麴（振麴）の順に手際よく入れていきました。

福山町の黒酢は温暖な気候など適した環境の中で、1年以上の長い年月をかけ、熟成発酵を行う伝統的な手法で作られています。約200年前から受け継がれています。桜島を望む日当たりの良い「つば畑」からは、発酵の始まりを知らせる甘酸っぱい香りが漂っていました。

FUKUYAMA



調印を記念して握手を交わす森山社長ら

国分

国分電機と立地協
定を結ぶことになり、市役所で調印式が行われました。国分電機は、照明器具用部品を生産し、電器メーカーなどを通じて供給販売している会社で、昭和63年に国分へ進出しました。今回の増設は、照明器具用部品の生産拡大などを目的としています。新工場は、面積約530平方メートルで新規雇用は10人程度。7月の操業開始を目指しています。調印式には、国分電機の森山克己社長らが出席。森山社長は「65歳以上の人材活用など地元根ざした事業を進めていきたい」と話していました。

KOKUBU



見頃を迎えた藤を背景に記念撮影をする花見客

牧園

色鮮やかな藤が
花見客らを魅了
この藤は奈良、平安時代に活躍した和氣清麻呂公が取り持つ縁で、岡山県和氣町から牧園町に贈られたもので、23種類、約100本の藤を幼木から大切に育て、今年で7年目の春を迎えました。期間中は霧島九面太鼓の演奏や中津川小学校棒おどりと披露され、祭りを盛り上げました。

MAKIZONO



特攻隊が出撃した飛行場跡に整備された空港公園

隼人

飛行機を間近で望む
空港公園完成
滑走路を挟んで管制塔とは反対側にある隼人町追間地区に空港公園が完成しました。4月8日の完成記念式典では住民の皆さんが馬踊りをして完成を祝いました。広さは3,055平方メートルで幼児・児童用の遊具施設が整備されています。飛行機を間近で見られる芝生広場には2階建ての展望所も設置されました。追間地区の皆さんの強い要望を受けて整備されたこの公園は総事業費2,980万円、財団法人空港環境整備協会から空港周辺の整備として1,968万円の補助を受けています。現在芝生の養生中で、6月1日から使用できます。

HAYATO

人の風景

THE SCENE

霧島に生きる

「自然の豊かさが一番心を豊かにし、その豊かさが作る楽器にも反映する」。そう信じて30年。黒田義雄さんは、バイオリン作りを続けています。黒田さんは鹿児島市出身。父や祖父母らがバイオリンなどを弾く音楽家系に育ち、自分でもバイオリンを弾いていました。

35歳まで家業の木工芸品作りをしていましたが、自分の生きる道を見つけたために家族を連れてインドへ渡り、半年間放浪生活。帰国後は屋久島、宮崎市へ。

そんな黒田さんがバイオリン作りを始めたのは「自分の生きる道は何か、自分の存在理由は」そう考え、自分の証を残すために好きなバイオリン作りに挑戦したのがきっかけです。

霧島へは、「大好きな自然の中でバイオリンを作りたい」と思い製作場所を探していたところ、たまたま訪れた霧島に一目惚れし、霧島(田口)にバイオリン工房をかまえました。

バイオリン作りは、海外へ行って修行を重ね、東京弦楽器フェア22年連続出品や世界的な国際音楽製作コンクールに出品されるほど。今では弦楽器製作者として高い評価を受けています。

また、黒田さんの工房では、バイオリン作りの指導もしており、黒田さんに習った生徒が世界的に有名なイタリアのクレモナバイオリン学校を卒業しています。

黒田さんは「生活をかけプロとしてこれまでやってきた。この歳になっても、世界に挑戦する姿を応援してくれる人がいる限り挑戦し続け、いつか霧島で生まれたバイオリンの音色が世界中で聴けることが私の夢」と話していました。

夢を追い求め、黒田さんの挑戦はこれからも霧島の自然と共に続きます。

霧島の大自然は
力と希望を
与えてくれる



Profile



黒田 義雄さん(67)
バイオリン職人

昭和14年1月30日生まれ、67歳。昭和62年から作品を国内外の演奏家に試奏してもらい好評を得る。昭和60年から日本弦楽器フェアに22年連続で出品。平成7年、日本製作者協会正会員に。平成12年からイタリアやドイツ、ポーランド、ロシアなどで開催された国際コンクールに出品。今年もイタリアで3年に1回開催されるトリエンナーレ国際弦楽器製作コンクールへ出品予定。

きりしま

旬素材

食べてみやんせ。

さまざまな栄養素を豊富に含んでいるトマト。鮮やかな赤色はリコピンで、活性酸素を抑える作用があり、動脈硬化やがんを防ぐ働きをします。また油と一緒に調理すると吸収率がアップします。熱に強く、炒めたり煮込んだりしても成分が大きく減少する心配はありません。



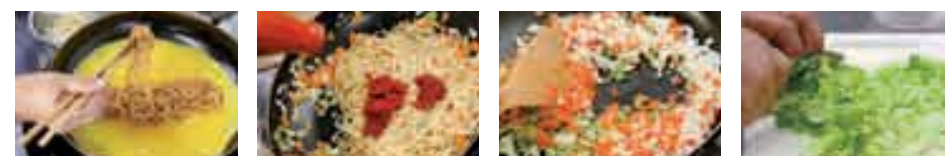
◎国分川内
村岡 ツユ子さん

トマト



オリーブオイルとにんにくで炒め、そこにスパゲティ！オムライスの進化形、オムスパゲティはいかが。トマトを使った手作りケチャップでおいしい食卓飾りましょう。

HOW TO COOK!



- ① フライパンに卵を入れて半熟になったら炒めたスパゲティを入れてオムライス風に作り、ケチャップをかけて出来上がり。
- ② 茹であがったスパゲティをフライパンに入れてケチャップ、塩、コショウで味付けする。
- ③ フライパンを熱し、オリーブオイルを入れニンニクを炒め香りを出し、トマト、玉ねぎ、にんじん、レタスを入れて炒める。
- ④ トマト、玉ねぎ、レタス、にんじん、ニンニクをみじん切りにする。スパゲティは茹であげておく。

- 【材料(1人分)】
- トマト…………… 1個
 - 玉ねぎ…………… 1個
 - レタス…………… 3枚
 - にんじん…………… 1本
 - スパゲティ…………… 1束
 - ニンニク…………… 1かけ
 - 塩…………… 少々
 - コショウ…………… 少々
 - トマトケチャップ…………… 適量
 - オリーブオイル…………… 少々

【じょうもん市場のケチャップ】
とってもスパイシーなケチャップができました。市販のケチャップとは、一味違う手作りのケチャップです。オムライスにかけてもハンバーグにかけても大満足。地元産のトマトを使い、トマトの持つ甘さを活かしたケチャップです。

Catsup dish

手作りのケチャップでオムスパ

国分地区で栽培されている桃太郎トマトは8月末に種をまき、苗を9月中旬に根の強いトマトに接木をします。そして11月の霜が降り始めるころからビニールハウスの内温度を10度に保つため暖房を焚き始めます。今年のトマトは去年の12月に雪が降り寒かったため、実のつき方は少ないそうです。収穫は2月ごろから始まり、6月中旬まで続きます。

このトマトを使い手作りケチャップを作っているのが国分物産館じょうもん市場で活動しているさざなみ会の皆さん。加工施設を持つ物産館の副会長でさざなみ会のメンバーでもある村岡ツユ子さんは、メンバーと一緒に4、5年前からケチャップ作りに取り組んできました。

去年から売り出したケチャップは地元産の完熟の桃太郎トマトを使い、400℃Cのケチャップを作るのに約1kgの使用、トマトが甘いため砂糖を少なめにし、玉ねぎや数種類のスパイスを混ぜ合わせてあります。甘くてスパイシーなケチャップはスパゲティやチキンライス、ハンバーグのソースにも最適。

今回料理を作ってくれた村岡さんは「仕事をしているときに一番楽しい」と話します。ケチャップ料理については「ジャガイモやサツマイモなど地元の食材を使ったケチャップ料理を考えてみたいですね」と話してくれました。皆さん、今夜はケチャップ料理はいかがですか。

◎問い合わせ先 国分物産館じょうもん市場 ☎ (45) 33322

じょうもん市場のトマトケチャップ

完全した桃太郎トマトに6種類のスパイスを入れ長時間煮詰めました。トマト本来の味を生かしたケチャップは、市販とは一味違う味に仕上がりました。



新 風に吹かれて(五木寛
之) 帝都衛星軌道(島田
莊司) 秋の森の奇跡(林真理
子) 絶叫師タコグルメと百人の
「普通」の男(笹野頼子) 棄霊
島上・下(内田康夫) 棟居刑事
荒野の証明(森村誠一) 季節を
味わう野草摘み(西村文子) 初
心者版 フライパンで自慢おか
ず(脇雅世) 絵本屋の日曜日
(落合恵子) 情報探索の基礎知
識(編集委員会・編) メダカの
遠足(阿部夏丸) もしもねこが
サーカスにいったら(石津ちひ
ろ) ルイーズ・メイとソローさ
んのフルート(ジュリー・ダン
ラップ) あめのもりのおくりも
の(ふくざわゆみこ) 生霊わた
り(ミシェル・ペイヴァー)
チャンピオン(たしろちさと)

長すぎる夏休み(ポリー・ホー
ヴァート) 他(国分図書館)
ナ スカ地上絵の謎 砂漠か
らの永遠のメッセー
(アンソニー・F・アヴェニ
ヤンキー先生の子どもがわから
ない親たちへ(義家弘介) 浅田
真央、15歳(宇都宮直子) おと
なりさん(高島純 盾「シール
ド」(村上龍) モーイイヨ(五
味太郎) メダカのえんそく(あ
べなつまる) かえりみちをわす
れないで(バット・ハッチン
ス) 他(単人図書館)

「脳力を読書で高める」今月の新刊。

古代歌謡と南島歌謡
谷川健一 著
言葉の呪力(じゆりょく)、アニミ
ズムの息吹。歌の起源にさかの
ぼって考察し、沖縄や奄美など南
の島々に残された「万葉以前のう
た」の世界に遊ぶとき、古代歌謡
の真の姿が浮かび上がる。古代
から芭蕉に至る歌を通過し、日本
人の魂の秘密にせまる。

眼の誕生
アンドリュウ・パーカー 著
生命史における最大級の謎とい
われるカンブリア紀に起きた爆
発的進化によって生物たちは突
如、一斉に、奇妙キレツな形へ
と進化した。この爆発的進化は
なぜ始まったのか?あらゆる分野
を縦横無尽に精査し、画期的ア
プローチで挑む。

**ながいながいかみの
おひめさま**
コミラー・ラーオーテ 文
パリーニータ姫の黒髪は、それはそ
れは長く美しく誰もがうっとりした
ものです。会う人はみな、口々に
言いました。「なんてすてきな髪で
しょう!」けれど、ある晩お城から抜
け出したパリーニータは、華麗な
雲間風の絵本、野間国際絵本
原画コンクール奨励賞受賞作。

うつくしいほおずき
村上規代 著
ほおずきは昔から薬として使わ
れ、まよけ、商売繁盛、先祖の供
養などで玄関や店先に置く緑
起がよいものといわれていました。
この本にはほおずきの育て方や
タネの取り方、美しいほおずき
ほおずきの作り方などが紹介さ
れています

霧島市立図書館に
おいでください。

霧島市7カ所の図書館(室)で本が
借りられるようになりました。

- 国分図書館 / ☎64-0918**
① 9:30~21:00
② 12月29日~1月3日
特別整理期間/6月中の10日間
- 単人図書館 / ☎43-7574**
① 平日/10:00~19:00
土・日・祝日/9:00~17:00
【夏休み期間】
平日/9:00~19:00
土・日・祝日/9:00~17:00
② 月曜日
12月29日~1月3日
特別整理期間/11月中10日以内
- 溝辺図書館 / ☎58-3191**
① 8:30~19:00
② 12月29日~1月3日
- 横川図書館 / ☎72-1596**
① 9:00~17:00
② 火曜日・祝日
12月29日~1月3日
- 牧園図書館 / ☎78-3349**
① 8:30~19:00
② 12月29日~1月3日
- 霧島図書館 / ☎57-0316**
① 月・水・金/8:30~17:00
火・木・土/8:30~20:00
② 日曜日・祝日
12月29日~1月3日
- 福山図書館 / ☎56-2026**
① 8:30~17:00
② 土・日曜日・祝日
12月29日~1月3日
【①開館時間 ②休館日】



児童の自発性を尊重している学校

体験したいという子どもたちの「心」を大切にしています。

高千穂小学校
霧島九面太鼓「育穂会」



みんな太鼓を叩くことが大好きです

高千穂小学校は温泉がいたるところに湧き出す霧島山麓の高原地帯にあります。明治41年に開校し、「体験で心キラキラ高千穂っ子」を合言葉に119人(男子66人・女子53人)の児童が学んでいます。そんな高千穂っ子が太鼓の練習に励んでいます。牧園町には天孫降臨伝説を表現した「霧島九面太鼓」があり、さまざまな形で太鼓の音を耳にする機会が多く、そんな環境から「自分たちも太鼓を奏でたい」という子どもたちが自らメンバーを募り、指導を霧島九面太鼓保存会「和奏」に依頼し、平成14年6月に「育穂会」が発足しました。現在は男子5人、女子10人、計15人で活動しており、週2回同小体育館で練習しています。

太鼓を通じて学ぶもの
練習はバチを使った手首の運動に始まり、同じ調子で太鼓を打ったり、一定の音の中に同じ間隔でリズムを入れたりする基礎練習、そして曲を演奏しながらいかに美しくみせるかといった応用練習へと移っていきます。育穂会では技術的な練習も厳しく指導しています。太鼓は

V O I C E

見せるもの。普段の立居振舞が演奏に出るものだと考えています。今年度から新リーダーになった弥永純典くん(5年生)は、「みんなと協力してリズムを作ることが太鼓の楽しいところ。リーダーとしてみんなをまとめていきたい」と話してくれました。

主な活動としては霧島高原太鼓まつりへの出演や福祉施設への訪問などを行っています。

霧島九面太鼓保存会「和奏」のメンバーが交替で指導しています。6学年にわたる年齢差があり、また個性も違うので、子どもを知り、それぞれに合った指導をするよう心がけています。技術的には基礎練習を大切に、できないことは何回も繰り返し指導します。子どもたちには、人前で太鼓を演奏する楽しさや礼儀作法を学んでほしいと思っています。そして、太鼓を通して学んだことをさまざまな場面に活かしてくれたらうれしいです。

◎「育穂会」指導者
蛭川あいらさん

Tax

◎税務情報

固定資産税・都市計画税の お知らせとお願い

固定資産税などは市町ごとに課税されるため、これまでは資産を持っていない旧市町ごとに納税通知書が届いていましたが、合併により、今回から霧島市内に持っている資産について、1つにまとめて納税通知書を送付します。納税通知書が届いたら、同封の課税明細書で資産(土地・家屋)の記載漏れがないか十分ご確認ください。

また、同一名義人の資産であって、納税通知書が2枚以上

届いた場合は連絡ください。その他、納税者の変更(納税管理人、相続人代表者等)をする場合は、固定資産税係に所定の用紙があるので手続きをしてくださいます。今月は、固定資産税などの第1期納期限となっております。納め忘れないようお願いします。

【納期限のご案内】

- 第1期 5月31日
 - 第2期 7月31日
 - 第3期 12月28日
 - 第4期 2月28日
- ◎問い合わせ先 税務課固定資産

産税係 ☎ (64) 0902

自動車税の グリーン化税制について

●グリーン化税制とは
地球温暖化・大気汚染防止の観点から、地球に優しい自動車の開発・普及を図るため、排出ガス性能や燃費性能の優れた自動車は自動車税を減額(軽課)し、新車新規登録から一定年数を経過した自動車は税額を増額(重課)する制度です。

●自動車税が減額(軽課)される自動車

平成18年度については、平成17年4月から平成18年3月末までに新車新規登録した低公害車(ハイブリッド車を除く)や低燃費車であった、低排出ガス認定車が軽課の対象となり、税率はおおむね25〜50%減額されます。なお、平成17年度に軽課されていた平成16年4月から平成17年3月までに新車新規登録したものにについては、平成18年度から軽課の対象外となりますのでご注意ください。

●自動車税が増額(重課)される自動車

平成18年度については、平成17年4月から平成18年3月末までに新車新規登録したものにについては、平成18年度から軽課の対象外となりますのでご注意ください。

新車新規登録から11年を経過したディーゼル車や同じく13年を経過したガソリン車(LPG車を含む)については、おおむね10%を増額します。

◎問い合わせ先 県自動車管理事務所 ☎ (099) (261) 5611 税務課 ☎ (64) 0902

●軽自動車税納期月のお知らせ

5月は軽自動車税の納期です。5月31日までに納付してください。

◎問い合わせ先 収納課収納第1係 ☎ (64) 0892

Environment

◎環境情報

地球を守る エコチャレンジ5

県が主催する「鹿児島県地球にやさしい県民運動推進会議」の活動の一つ、「エコチャレンジ5」をご紹介しますので、未来のために一人ひとりができることから始めてみましょう。

【チャレンジ1】
電気、水の10%削減にチャレンジ
夏季の冷房温度は28℃、冬季の暖房温度は20℃を目安にしましょう。また、お風呂の残り湯は、洗濯などに積極的に活用しましょう。

【チャレンジ2】 燃料の10%削減にチャレンジ

アイドリング・ストップを実践しましょう。また、湯沸器の口火はこまめに消しましょう。

【チャレンジ3】 廃棄物の減量化やリサイクルにチャレンジ

買物はマイバッグ持参で出かけましょう。また、空き缶やペットボトル等リサイクルしましょう。

【チャレンジ4】 川や海、環境保全にチャレンジ

流し台のゴミは、こまめに取り除きましょう。また、てんぶ

【チャレンジ5】 自然環境の保全にチャレンジ

自然観察会などに参加し、野生生物や自然生態系の理解を深めましょう。また、キャンプや登山など自然と触れ合う際には、空き缶などのゴミを持ち帰りましょう。

はじめよう！ こどもエコクラブ

「できることからはじめよう！」を合言葉に、子どもたちの興味や関心に基づいて、自然観

【対象年齢】 3歳児〜高校3年生

や市役所にも置いてあります。また、こどもエコクラブホームページでもダウンロードすることができます。

【サポーター】 代表サポーターは必ず保護者や学校の先生、地域のリーダーなど、成人の方がお願いします。

代表以外のサポーターは高校生や大学生でも可能です。

◎問い合わせ先 環境衛生課 ☎ (64) 0950

Annuity

◎年金情報

国民年金こんなときには こんな手続きを

国民年金は、日本国内に住所がある、20〜60歳未満の方すべてが加入する制度です。届出を忘れると将来受け取る年金額が少なくなったり、受けられなくなったりする場合があります。次のようなときには、市役所へ自分で届出をすることが必要です。

- 二十歳になったとき
農業、自営業、学生、勤めていても厚生年金保険に加入していない方が20歳になったときは「国民年金被保険者資格取得届」が必要で
- 会社を退職したとき
60歳になる前に会社を退職したとき、公務員でなくなったとき、または勤めをやめたときは、厚生年金保険等を脱退後、「国民年金被保険者資格取得届」が必要で
- 収入が増え被扶養配偶者でなくなったとき
収入が増え、被扶養配偶者でなくなったとき(パート収入が130万円以上になったとき)は、「国民年金被保険者種別変更届」が必要で

● 配偶者が退職したとき

配偶者が退職し、会社員や公務員などの被扶養配偶者でなくなったときは、「国民年金被保険者種別変更届」が必要で

● 学生納付特例の手続きをしましょう

なお、会社や役所、学校などに勤めている方と被扶養配偶者の方については、勤務先で手続きが行われますので、自分で手続きを行う必要はありません。

- 平成18年7月から多段階免除制度が始まります。
従来の全額免除と半額免除に加えて、新たに4分の1免除と4分の3免除が追加されます。
【平成18年度の年金相談日】
5月18日 霧島総合支所
6月15日 本庁

- 7月13日 牧園総合支所
 - 7月20日 霧島総合支所
 - 8月17日 本庁
 - 10月19日 本庁
 - 11月16日 横川総合支所
 - 12月14日 本庁
 - 1月18日 溝辺総合支所
 - 2月8日 本庁
 - 3月1日 福山総合支所
 - 3月8日 霧島総合支所
- ◎問い合わせ先 保険年金課国民年金係 ☎ (64) 0886
加治木社会保険事務所 ☎ (62) 3511

Health

◎健康情報

「ほっと湯ったり健康セミナー」開催のお知らせ

①講演「温泉に行こう〜みんな目指そう 水も滴るいい男いい女〜」講師・霧島リハビリテーションセンター長/川平和美先生

②「気楽にできるストレッチ運動の実践」講師・健康運動指導士/中村美奈子先生

③温泉入浴指導員による「正しい温泉の入浴法について」の講話

※運動のできる服装でお越しください。

日時 6月17日(土) 午前10時〜午後2時

場所 霧島保健福祉センター(霧島市霧島)

● 募集人員 50人。30〜おおむね70歳の市民で、筋肉痛・関節痛・腰痛・肩こり・冷え症等の症状のある方。

● 参加料 昼食代600円・入浴を希望される方は入浴料300円が必要となります。

● 申込先 霧島保健福祉センター ☎ (64) 8082

● 申込締切 5月31日(水)

健康づくりに 温泉を活用しましょう

温泉や入浴は、病気になるのを治癒させるものではありませんが、疲労の回復や体調を整え、健康を増進して病気の治癒を助ける効果があります。霧島市は全国でも有数の温泉地です。安全で上手な利用法についての知識を身につけ、温泉を健康づくりに役立てましょう。

65歳以上の方の結核・肺がん検診のお知らせ

17年度から結核レントゲン検

問診も必要になりますので、これまでの結核検診と比べると、場所の変更があったり、時間が多少かかりますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

料金は、レントゲン撮影は無料ですが、喀痰検査については、65〜69歳までの方は500円必要になります。

各総合支所での日程、場所については、健康カレンダーまたは検診事業のお知らせをご覧ください。

◎問い合わせ先 健康増進課地域保健係 ☎ (64) 0905

霧島山ろくのまち

聖徳大学教授 福留 強氏



P R O F I L E

ふくどめ つよし (65歳) / 霧島市(隼人)出身。国立社会教育研究所教務課長。文部省社会教育局の社会教育官を歴任し、生涯学習局誕生以来、生涯学習の普及に活躍。平成5年九州女子大学教授、その後、聖徳大学生涯学習研究所長を歴任。現在、まちづくりボランティアとして全国でまちづくりに参加している人材の育成に尽力されている。

あこがれのまち

「もう一度、住む場所を考えるとすればどこに住みたいですか」という質問を受けることがあります。しかし、私の場合は、答えは「隼人」に決まっています。単に故郷だからというだけでなく、地域の魅力は最高だと思っただけでなく、霧島山ろくのまちは、それだけで県外の人々にとってはあこがれになっているのです。

私は、大学の仕事と、NPO法人の運営と重ねながら生涯学習の推進とまちづくりに関する活動をつづけ、これまでに全国の自治体、約900カ所のまちを見してきました。まちづくりの仕組み、教育行政など長い役所生活、大学教員としての活動経歴等から、いつも厳しい目でまちを見つめてきました。そういう目でみても、霧島市はすばらしい資源と魅力にあふれているのです。

「まちづくり」の個性化へ向けて

わが国は少子高齢社会に突入し、数々の問題が顕在化し、まちづくりにはコミュニティの回復など、地域の活性化として最大の関心事になっています。

日常的に使われる「まちづくり」という用語は、かつての企業誘致や団地の造成、高速道路の整備など、ハードの整備が中心でした。今日では市民の快適生活、安全、環境、文化環境、道義高揚など、あきらかに「まちづくり」のニュ

アンスは、ソフトにと変わってきました。

コミュニティ活動は、「地域づくり」や「まちづくり」等の用語と重なる部分が多いのですが、この大きな霧島市を、ひとつにして考えることは無理な話のようです。

コミュニティは、たとえば旧隼人町だけでも広すぎるのです。小浜と日当山の課題も違いますし、目指していることも異なるはず。個々の地域が元気であって、その総合体が霧島市というわけです。だとすれば、旧町単位だけでな



喜例川駅を中心とした山里の恵と森のコンサート

くもつと小さな単位の、コミュニティ活動を充実させる必要があります。横川の「山ヶ野地区」や、隼人の「嘉例川地区」の活発な地域活動によって多くの地区がどれだけ元気になったことでしょうか。この小さな集落にも学びたいものです。

とはいえ、合併した新霧島市にとって「新しい市民としてのまとまり」は不可欠です。

そのためには、まず「地域を知る学習」を始めることが必要でしょう。地域の資源は、地域の人には見えないことも多い

M E D I C A L L E C T U R E

やさしい医療講座

霧島市立医師会医療センター 院長 / 藤崎 邦夫



C型肝炎を克服して 肝臓がん予防を

広報きりしま「医療講座」の第1回目に当たり、21世紀前半の「国民病」でもあり、また霧島市民の皆さんにも知っておいてほしいC型肝炎肝臓について述べてみたいと思います。

現在、日本人の死亡原因第1位のがんの中でも、上位を占めているのが肝臓がんです。肝臓がんの大多数はC型肝炎肝臓などのウイルス性肝炎が主な原因となつています。C型肝炎肝臓は20〜30年の経過で肝硬変さらに肝臓がんへ進展し、特に60〜70歳代で肝臓がんにかかる方が多いようです。また、C型肝炎肝臓はインターフェロン（抗ウイルス薬）治療により完治させることも可能で、完治した患者さんは、肝臓がんにかかりにくくなります。現在でも国内の年間死亡者数が約3〜4万人に上る肝臓がんは大きな問題の一つです。日本のC型肝炎肝臓の患者さんを年齢別に見ると65〜70歳にピークがみられ、諸外国と比べ、高齢の患者さんが多いのが特徴です。霧島市立医師会医療センターの患者さんの平均的な年齢も60歳代後半と高齢化しています。

C型肝炎肝臓の患者さんの自覚症状は大多数の方が特別な症状もみられないのが特徴で、C型肝炎肝臓と診断されるのは、検診、人間ドックあるいはたまたま

他の病気にかかり医療機関を受診した際、肝機能障害を指摘されて初めて気づく場合が多いようです。平成14年から5歳ごとの節目の年齢でウイルス肝炎節目検診が始まり、症状の無いC型・B型肝炎のウイルスキャリア（ウイルス保有者）が多数みつかるようになりました。

C型あるいはB型肝炎を診断などで指摘された際には、まず近くの医療機関を受診され、肝炎にかかっているかいないかを検査してウイルスが血液中に存在するウイルスキャリアであるかを確認する必要があります。さらに、治療が必要と診断された場合には専門医を紹介してもらい、治療の必要性の判断を受けることが重要です。

C型肝炎肝臓の治療としては、平成4年にインターフェロン療法が保険適用となりましたが、C型肝炎肝臓の中でも大多数を占めている1型のC型肝炎肝臓には効果が不十分で、約3割程度の患者さんが治癒するに留まりました。その後、平成13年に認可されたリバビリンという抗ウイルス薬とインターフェロンを併用するインターフェロン+リバビリン併用療法で有効率はやや改善しましたが、1型の患者さんの治癒率は20%程度に留まり、新しい薬剤の登場が待たれていました。平成15年には週1回投与のペグインターフェロンα2aが認可され、平成16年にはペグインターフェロンα2bとリバビリンとの48週間の併用療法が認可され、1型の約半数の患者さんが完治する

ものです。相互に旅人の目で見ることによって、もっと多くの資源が見えてくるでしょう。そのためには積極的な交流や広域の研修等が必要です。

地域(霧島)をプロデュース

この6月。私が関係する「NPO法人全国生涯学習まちづくり協会」では、大手の旅行業者と連携して「南九州・自然と薩摩隼人ふれあいの旅」を実施することになりました。これからの旅は、地方で企画して、地方の良さを味わう旅に移行すると予測されています。その旅を担当する「旅のもてなしプロデューサー」を養成するために、現在、私たちはその学習課程を検討中ですが、そのための旅を全国に先駆けて、実験的にまず鹿児島県霧島市で実施してみようということになりました。それが南九州の旅なのです。

もうひとつ、私たちは高齢者を「創年」と呼び、生涯現役として人生を地域のために役立てようという運動と、その創年の生きがい活動の拠点として「創年のたまり場」を設置する運動を展開しています。この旅は「創年のたまり場めぐりツアー」とも呼ばれるものです。創年のたまり場は「地域を愛し、まちづくりに協力する人が居る場所」だとすれば、このたまり場が多い街がより魅力的なまちということになります。霧島山ろくに、全国第1号の旅が実現し「もてなすまち」が存在するだけでもすばらしいことではないでしょうか。

までになりました。

現在、国内で大多数の1型高ウイルス量の患者さんに行われているのは、ペグインターフェロンα2b+リバビリン併用療法です。ペグインターフェロンは従来のαインターフェロンにポリエチレングリコールを結合させ、抗原性を低下させ血液中の半減期を長くしたインターフェロン製剤です。この改良されたインターフェロンは副作用も軽く、長期の治療にも向いています。これが現在のC型肝炎肝臓の標準的な治療となっています。

医療センターの取り組み

霧島市立医師会医療センターでは、C型肝炎肝臓の患者さんのかかりつけ医療機関と協力して、治療を行っています。定期的な注射はかかりつけ医療機関で受けていただき、医療センターでは効果判定や副作用などについて診察を行い、適切な投与期間を設定し、より多くの患者さんが治療を受けることができるよう地域での病診連携（病院と診療所間の医療連携）を積極的に進めています。C型肝炎肝臓にかかっている方、あるいはご家族など周りの方がC型肝炎肝臓にかかっている場合は、医療機関を受診されて治療の必要性について相談されるようお勧めいたします。

C型肝炎肝臓が主要な原因である肝臓がんは「予防可能ながん」であることを霧島市民の皆さんに知っておいていただきたいと思ひます。

お知らせ

夏の職員服装軽装化にご理解を

地球温暖化防止対策と空調経費節減のため市役所内の設定温度を28度にしますので、職員の服装を軽装化するためポロシャツ等の着用に取り組みます。期間は、5月～10月（5月と10月は移行期間）までです。

◎問い合わせ先 職員課人事給与係 ☎(64) 0997

えほんとわらべうたの会

・日時 6月1日・8日・15日 午前10時30分～11時30分
・場所 隼人農村環境改善センター
・対象 親子（3歳児対象）20組
・講師 図書館職員・竹京子先生

◎申込先 隼人図書館 ☎(43) 7574

新しい駐車場ができました

国分警察署北側に国分シビックセンター西駐車場が完成。5月17日から国分シビックセンター東駐車場も利用できます。
◎国分シビックセンター西駐車場（328台）

●国分シビックセンター東駐車場（142台）
・利用時間 午前8時～午後9時20分
・駐車料金 2時間無料（その後1時間につき100円）
※ただし、休日無料

◎問い合わせ先 管財課庁舎管理係 ☎(64) 0983

お知らせください

道路陥没・側溝蓋等損傷箇所

近年の交通量の増加に伴い、舗装の陥没や側溝蓋等の損傷箇所が見受けられます。皆さんからの連絡や道路のパトロールなどで発見した箇所については、随時補修を行っておりますのでご連絡ください。

◎問い合わせ先 土木課道路維持係 ☎(64) 0907

道路にはみ出さないで

植木の枝などが道路にはみ出でて歩行者・自転車・自動車等の通行の障害となり、事故の原因となる危険な状況を見受けられます。民有地から道路にはみ出ている植木の枝などは、道路管理者で除去できませんので、土地の所有者・管理者の方で剪定などをして取り除いてください。
◎問い合わせ先 土木課道路維持係 ☎(64) 0907

募集

霧島市人権啓発推進まちづくり会議委員の募集

人権について一層の理解を深め、自らの意識を見つめ直し、自らを啓発していく活動を推進することを目的とする「霧島市人権啓発推進まちづくり会議」を設置します。

・公募委員予定人数 10人程度
・募集対象 ①市内に居住する満20歳以上（平成18年4月1日現在）の方 ②平日に開催する会議に参加できる方
・委員がすること ①人権啓発活動についての企画、立案と推進に関する事項 ②その他人権啓発活動の推進に関する事項
・委員の任期 ①おおむね2年
・開催回数 ②年2回程度
・応募方法 ③必要事項（氏名、住所、性別、年齢）を明記した書類（様式自由）及び「人権について思うこと」をテーマとした作文（様式自由、800字程度）を市民課人権推進係に直接持参するか、郵送、ファックスで申し込んでください。応募書類について

持係 ☎(64) 0907

相談

「6月1日は人権擁護委員の日」市内一斉特設人権（無料）相談

・日時 6月1日（木）午前10時～午後3時
・場所 国分総合福祉センター！
溝辺総合支所・横川健康温泉センター・牧園老人福祉センター・霧島総合支所・隼人町商工会館・福山公民館分館・福山公民館
◎問い合わせ先 鹿児島県方法務局霧島支局 ☎(45) 0064

霧島市人権擁護委員

【国分】松崎久夫・川畑和子・若松シヅエ・有村友秀【溝辺】野元耕一・剝岩裕【牧園】池平勲【横川】道祖瀬戸謙二・田口正義【隼人】有蘭勉・塚田律子・村田榮子・下玉利守【霧島】造免和子・野崎幸男【福山】宮之原輝・篠原忠平

女性相談（毎月第4火曜日）

・相談日 5月23日（火）午後1時30分～4時30分
・相談員 2人（女性相談員）
・相談方法 電話相談（面接可）
・単人総合支所 ☎(42) 1111
1 女性相談室へお電話ください。
◎問い合わせ先 隼人総合支所 ☎(64) 0927

講座

ファミリー水泳教室の案内

・ファミリー水泳教室A（10回）未就学児（2歳以上）と保護者20組
・日時 5月30日～7月8日 火曜日（午後6時～8時）土曜日（午後4時～6時）
・ファミリー水泳教室B（10回）小学3年生以下の児童と保護者20組
・日時 6月14日～7月15日 水・土曜日（午後6時30分～8時30分）
・場所 国分総合プール屋内プール
・申込方法 ②スポーツ振興課生涯スポーツ係へ受講料を添えて直接お申し込みください。（定員になり次第締め切りです）
・受講料 ②2,200円（保険料含む）
◎申込・問い合わせ先 ③スポーツ振興課生涯スポーツ係 ☎(64) 0927

「きりしま歴史散歩」参加者募集！5回講座

第1回目は市内の「式内社」

では返却いたしません。
・応募期間 5月15日（月）～6月16日（金）必着
・選考方法など 書類審査の上決定。公募委員に決定した方は、氏名と居住地区を公表します。

未来戦略計画策定委員の募集

自然豊かな観光資源の活用を図るため、市民の委員および専門知識を持つ委員による「霧島市観光未来戦略策定委員会」を設立し、中長期的観光振興の方針となる観光未来戦略計画の策定をする委員を募集します。

◎申込み・問い合わせ先 市民課人権推進係 ☎(64) 0999

子育てサロン

●親子体操（各20組親子）5月18日（1～2歳未満）25日（2～3歳未満）26日（6カ月～1歳未満）
●時間 午前10時～11時
●場所 福祉体育館
●わらべうたで遊ぼう（各20組親子）6月1日（1～2歳未満）5日（2～3歳未満）15日（6カ月～1歳未満）
●時間 午前10時～11時
●場所 国分公民館4階音楽室
●参加無料
●申込方法 ①官製はがきに希望の日程②漢字で子どもの氏名（ふりがな）③子どもの生

総務課地域振興係 ☎内線5015

講座

単人子育てひろば（乳幼児学級）

・対象者 小学生以上
・定員 40人（先着順）
・参加費 100円
・見学場所 鹿児島神宮、大穴持神社、霧島神宮他
・申込方法 ②電話又は直接文化振興課へお越しください
・募集締切 5月16日（火）
※連続講座ではありません。毎回参加者を募集します。
◎問い合わせ先 ②文化振興課文化係 ☎(64) 0990

単人子育てひろば（乳幼児学級）

●育児は育自なり*
幼児期の心身の発達・基本的なしつけ、父母の役割など、家庭教育の機能を高めるための基礎的な学習（育自）を目的とします。

舞鶴大学開校式日程変更

都合により5月19日を5月22日に変更します。
◎問い合わせ先 生涯学習課生涯学習係 ☎(64) 0926
【お詫びと訂正】広報紙4月号2ページ1行目の3月定例市議会日程は「2月28日から3月30日まで」●9ページ花いっぱいコンクールの問い合わせ電話番号は「☎(64) 0915」●27ページ4月行事予定表の乳がん検診、子宮がん検診の欄「男女」は「女」、☆料金免除の対象者、がん検診の欄「市民税非課税世帯」は「生活保護者世帯」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。





市長と語ってみませんか？
市政に対するいろいろな想い
またふるさとに対する想いなど
何でも結構です。
「市長と語イもんそ会」、
「市長とランチで語イもんそ会」を
開催（随時広報掲載）しますので、
皆さまの参加をお待ちしています。

語イもんそ会！！

17年度の市長と語イもんそ会を
2月から3月に総合支所単位で7カ所開催しました。
その一部を紹介します。

◎溝辺会場

上床公園のコミュニティセン
ターは雨漏り対策で、修繕を計
画しているようだが、老朽化が
激しいので建て替えてほしい。
(論議地区 男性)

台風（大雨）時の横雨でフロ
アや会議室に雨水の浸入や、展
望台に雨漏りなどの傷みがあり
ました。財政状況が厳しいとき
であり、まず現在の施設を有効
に活用すべきであると判断し、
18年度に修繕のための予算を計
上することにしました。

◎横川会場

横川く山ヶ野線川北地区の道
路の整備が進められているが、
今後も引き続き道路を整備して
ほしい。
(小脇地区 女性)

◎牧園会場

農業大学校跡地を総合クラウ
ンドとして利用できないか。
(高千穂地区 女性)

跡地を有効利用するための基
本構想を策定し実施計画をつく
る必要があります。サッカー、
グラウンドゴルフなどいろいろ
なスポーツが利用できる多目的
グラウンドなどの霧島中央公園
を考えています。また、グリー
ンツーリズムも基本構想に反映
させようと考えています。

◎安良小学校の通学路で丸岡公

園入り口から丸岡バス停までの
県道に歩道がなく、大変危険な
状態だ。安全対策のために歩道
を造ってもらえるよう県に要望
してほしい。
(かみ地区 男性)

歩道を希望されるところが県
の公園指定区域になっているの
で、まず工事をするためにはそ
れに代わる同規模の代替地が必
要です。条件が整えば、県も検
討すると回答していますので、

◎手洗地区分譲地の斜面の一

部が平成17年9月台風14号によ
り崩落し、100m以下の沢まで
土砂が押し寄せている。非常に
危ないので、早急に対策をして
ほしい。総合支所、県、分譲地
販売会社とも協議をしたが進ま
ない。応急措置を取っていただ
きたい。

（高千穂地区 男性）
分譲地の崩壊ということで、
市としての対応は困難な状況で
すが、二次災害防止の為に、今
後も県と協議を重ねていきます。
又、近く開発者と協議して応急
措置を実施する予定です。

◎霧島会場

霧島地区の人口が4,000
人に減少するのは時間の問題で
ある。人口増加対策として、温
泉などを利用して霧島地区に団
地造成や住宅建設はできないか。
(田口地区 男性)

日本全体の人口が減少する時
代になっています。新市まちづ
くり計画に団地造成や住宅建設
が盛り込まれていますが、単に
団地造成や住宅建設だけでは、
人口増加につながらないと考え
ます。住環境以外の付随した魅
力が大切で、U・Iターン、団
塊の世代の退職者などを引き込
む定住促進策を進める必要もあ
ります。関東、関西、福岡三圏
域の霧島市出身者の霧島会なる
ものをそれぞれ立ち上げてその
方々の知恵や情報を活用して、
企業誘致、観光客誘致、特産品
の販路拡大、退職者のふるさと
受け入れなど対策をとって、人

口増加、まちづくり・地域おこ
しに役立てていきます。
霧島の人が溝辺、国分、福山
のゲートボール場を利用するの
は不便利です。4面の屋内ゲート
ボール場を近くに作ってもらえ
ないか。

（梅北地区 女性）

観光地として、新たにゲート
ボール場が必要か検討してみな
いといけません。今は溝辺、
国分、福山にあるものを利用し
ていただきたい。この地区に
ゲートボール場を作って、他の
施策は我慢することを地区住民
の方々の理解が得られるか疑問、
ゲートボールに限らず別の競技
のできるものを検討してみる余
地はあります。

◎国分会場

市長と語イもんそ会を34カ所
で実施するということだが、で
きたら地区自治公民館ごとに実
施してほしい。
(上之段地区 男性)

地区自治公民館ごとに開催す
るとなれば、回数が多くなりま
すので、厳しい状況です。その
他の業務も数多くありますので、
小学校単位34カ所で開催するこ

を超えないようにしています。

とをご理解ください。その他に、
市長とランチで語イもんそ会を
開催しています。また、地域や
団体からの要請があれば可能な
限り出向きます。

◎障害者自立支援法により、

サービス利用料が1割負担とな
り、月々の負担が重くなるので、
助成してほしい。肢体不自由児
と他の児童と同一施設内では危
ないので、もう1カ所の施設部
屋）整備と作業療法士、言語療
法士などの職員を早期に配置で
きないか。また、土曜日のひま
わり園の開園と運営費の補助は
考えてもらえないか。
(敷根地区 女性)

◎4月から法律が変わり、対象

となるひまわり園も1割負担と
なります。ただし、所得にに応じ
た軽減措置がありますので、そ
の制度を利用して負担していた
だくこととなります。土曜日の
ひまわり園の開園は検討しま
すが、他のクラブも含め、運営費
補助と施設の増設も財政的に厳
しい状況です。

◎隼人会場

新川地区には、小学生120
人、中学生70人が在学している。

通学路の交通量が大変多く、交
通事故の危険性が非常に高いの
で、橋を建設して交通安全対策
をしっかりとしてほしい。
(住吉地区 男性)

これまでも新川橋と野口橋の
間に橋を架ける要望が出ていま
した。隼人町真孝の山形屋から
自衛隊北側を通る道路を総合振
興計画に掲載していきます。な
お、国分の都市計画マスタープ
ラン、隼人の同プランにも同じ
箇所を掲載していますので、引
き続き検討していきます。

天降川の日当山・姫城地区等
の排水ポンプが災害防止に役
立っているが、川底が上がって
豪雨のときには不安だ。県に川
底を下げるよう要望できないか。
(日当山地区 女性)

寄州をとってほしいという要
望は県も財政が厳しくてなかな
か進まない状況ですが、強く要
望します。

◎福山会場

合併前に牧之原字を作った
しいと要望したができなかった
ので、ぜひ新市で牧之原とい
字を作ってください。
(東牧之原地区 男性)

総合支所で調査したところ、
日置市東市来で実施しており、
早速県地方課や法務局などの指
導を受け、大字牧之原を作る方
向で作業に入りました。なお牧
之原地区には大字福沢の飛び地
があるため、大字牧之原とした
場合地番が重複するなどの問題
もあり、今後地区自治公民館な
どに依頼し、住民アンケートを
行い、その結果に基づき地域の
方々と協議を重ねて対応してい
きます。

（新原地区 男性）

地域を活性化するためには多
目的総合グラウンドが必要です。
現在造成等をしている自衛隊の
跡地を多目的総合グラウンドに
する予定はないか。
市民の方々が満足する施設は
何がよいのか市民の皆さまの
声を聴いて検討しますが、どの
地区にも似たようなものを造る
時代は終わったと考えています。
地域の魅力を役割分担して、そ
の地域にもっとも似合うもので
市民の理解を得られるものを推
進していきます。

継続中の案件については、そ
の後関係機関との協議など必要
に応じた対応をしています。

市政に対するいろいろな想い、またふるさとに対する想いなど各地の会で自由なテーマで語っていただきました。

《郷土史への扉》

霧島つつじと龍馬

「霧島」を早くに世に広めたものがあります。それは皆さんもよくご存じの民謡「おはら節」です。

歌詞に「花は霧島、たばこは国分、燃えて上がるはオハラハハ」があり、鹿兒島を代表する民謡ではないのです。

「おはら節」は県外の人には「たばこは国分」の文句の方が通りがよく、冒頭の「花は霧島」は印象が薄いかもしれせん。「花」といえば一般には「桜」を指しますが、しかし、おはら節の「花」を桜と思ひ霧島を想像したら、それはちよつと違います。霧島の花は「霧島つつじ」を指しています。

この「霧島つつじ」の美しさは、坂本龍馬も感嘆したほど。龍馬は慶応二年（一八六六）三月に妻のお龍と鹿兒島を訪れ、二人で高千穂に登っています。

龍馬は高千穂登山の様子を、姉の乙女様に絵入りの手紙で詳しく知らせています。その手紙を読むと、龍馬は細かい心配りをする人だったことがよく分かります。

文中に高千穂の姿を描き、山頂には天の逆矛も描き入れていきます。登ってきたコースは朱で

線まで引かれ、横には細かい字で詳しい注釈を入れ、天の逆矛の所には二人でエイヤと引きぬき、また元のとおりにおさめたと書いてあります。龍馬の自由な精神がよく現れています。

また、その下に点々を打ち「此処きり鳥つつじ ヲビタダシクアル」ともあり、本文には「なる程きり鳥つつじが一面に生えて実（まこと）つくり立てし如くきれいな」と感激したことが記されています。

文中に「なる程」と書いているところを見ると、高千穂登山をすすめた西郷隆盛や小松帯刀などから、事前にその見事さを聞かされていたようです。

実は、この絵入りの手紙は、龍馬の独創かと思われていますが、彼らより前に、高千穂登山をして紀行文を書いた人がいます。

その人の名は伊東凌雲。江戸の講釈師で、島津斉興の供回りとして天保六年（一八三五）鹿兒島に来て翌七年まで滞在、藩内をあちこち見聞して回りました。伊東は七年七月二十三日から二十九日まで高千穂登山などをして過ごしています。その間のことを好奇心あふれる書き振りで旅行記にして残しました。

この旅行記は「鹿兒島ぶり」といわれています。感心なのは文章だけでなくスケッチを添えていること。絵はけつして上手とはいえませんが、情景を理解するのに非常に役立ちます。

伊東は鹿兒島から吉野、白根坂、加治木、小浜と陸路で来て、宮内の正八幡に参拝し、日当山から水天湖の宮内原水記念碑を訪れ、安楽温泉へ。それから大飼滝、かせきの原を経て高千穂に登っています。もちろん道中スケッチをしながら。高千穂でも山の姿に自分が登ったコースを示し、頂上には天の逆矛も描いています。

龍馬は、高千穂に登る前に、この道中記を読んでいたに違いありません。西郷などが提供したのでしょうか。

伊藤の高千穂登山は、龍馬が登る約三十年前のこと。伊東がたどったコースを龍馬も通った可能性が高く、面白いのは、伊藤も龍馬も自分が登った山を「高千穂」と言わず、「霧島」と呼んでいるところ。高千穂は「古事記」「日本書紀」に出てくる古い名称なのに、当時は一般に高千穂、霧島の区別はせず、あの辺りを霧島と総称していたのかもしれない。

市長コラム 前田終正

創造する市役所へ
市長の立場でよく取材されるが、広報広聴課を逆に取材してみた。今回、広報誌のリニューアルは、市の職員2名がボランティアで協力していた。霧島市の未来を考えると、そのような姿勢はとても重要でありたい。市職員として、自ら仕事を創造できるように頑張ってほしい。市役所全体の企画力・政策遂行力をアップしてほしい。「合併したばかりの今、これまでと同じでは地域がもたない」という意識を職員がもつことが大切だ。新しい企画をどんどん発案し、実行していく実働部隊、汗をかき集団として問題を解決できる役所づくりを進めたい。

私も先頭に立って、市民の皆さんに語りかけようと考へ「市長と語りもんそ会」と「市長とランチで語りもんそ会」を展開している。市民の皆さんの意見を聴くことが、今後、とても重要だと判断したからだ。皆さんから出された意見で知らないことがあったときは、公務の合間を縫って、必ず現場に向き確認している。このような体験で得るものは、私にとって大きな財産になると考えている。市長自ら先頭に立って、元氣よく頑張っていきたい。

《随ずいそう想》



マイライフ

◎長瀬 義人

(写真) もっとも好きな風景 自慢の庭を眺めながらゆっくりティータイム

我が家の家族は、山羊(やまびこ)ちゃん、烏骨鶏(くわこ)9羽、ヤマガラやシジュウガラも来るので家族の仲間。他に犬3匹、ネコ1匹、そして妻1匹。失礼、実は大切な愛妻と書いたのが我が家の家族構成です。

ところで、旧霧島町田口(日本最古の水田跡のある狭名田集落のごご存じですか)に永住したのは13年前のこと。また、当時は現役でしたので勤務先の鹿兒島市へは7年間通勤しました。楽しい我が家の庭づくりの

夢もあり長距離通勤に一回も苦痛を感じたことはありませんでしたし、寒い冬の真夜中に帰宅したときには、車から降りるなり愛妻が用意してくれたお湯割りの焼酎を片手に透き通る空気に登み渡る星空を酒の肴に眺め楽しんでいた頃が懐かしく思い出されます。

鹿兒島市の電車道路沿いの雑音の中で生まれ育った生活からこの地に居を構えるきっかけについてよく知人に質問されることがあります。自分でも一言で

説明はできないのですが、一つ言えることは案外と物事を決めるに当たり慎重さと計画性に乏しく、行き当たりばったりに物事を決めてきた結果であることは確かです。でも、幾つかの思い当たる理由がないわけではありません。その一つは、定年後の生活を夢見る時、その時の年齢の体力で物事を考えたとき、定年前のまだ少しは体力が温存している時に、準備に取りかかるのが良いのではないかと考えたこと。

二つ目は、まだ日本はウサギ小屋生活が普通であった30数年前にアメリカで一年間生活する経験をしたが、向こうの家は道路から家の玄関までのアプローチが長く、家の裏側は芝生が広がって子どもたちが走り回れる広さを見たとき、日本との歴然とした違いを感じました。大きな家は必要としなくても、庭だけは広い場所に住みたいという願望が、アメリカでの体験により頭のどこかに刻まれていたことも事実であり、それを実行に移したまでのごとくでした。

さて、現実に戻り今の生活を振り返ったとき、田舎生活は決して簡単なものではありませんでした。まず、そこには先住民(蛇、ムカデ、ブヨ、その他...)がすでにいたからです。愛犬に大きな犬がごろごろと付き、それは人間までも容赦なくつきまとってききました。女房が家の裏にある箱を持ったその下に蛇がトグロを巻いていたことも...。こんな話をしていきますとネタは尽きるかなし。ダニこそいなくなりましたが、その他の先住民とは仲良くしながら生活しているのが現実です。

我が家の主人公である女房はというと、好きな花などの植物と毎日(膝の痛みと)悪戦苦闘。いつまでも終わりのないナチュラルガーデン作りが夢・生き甲斐らしく、13年間コツコツと開墾してきたマイガーデンを一つの区切りとして、昨年の5月にオープンガーデンをして、多くの人と交流をしながらますます花夢人間になりつつあります。

今年も2回目に挑戦します。年と共に衰えつつある身体に打ち打って二人してそれぞれの役割分担で頑張っている今日のごとくです。

Profile



ながせ よしと (65) / 現在、大田小学校の金管バンド指導、MBCコースオーケストラ団長&指揮者、鹿兒島大学教育学部音楽科非常勤講師、開陽高校非常勤講師、南日本音楽コンクール審査委員長、鹿兒島交響楽団顧問、鹿兒島ウィンドアンサンブル顧問。過去には鹿兒島中央高校・串木野高校教諭、県教育委員会指導主事、警察音楽隊隊長を歴任